



\ みんなの声がミライをつくる /



ぐんまこどもモニター

2025年度 第3回アンケート 報告書

2026年3月

群馬県生活こども課

調査概要



調査目的

- こどもや若者の意見を聴き、これから群馬県が進めるこども向けの取組に生かします。

調査期間

令和7年12月1日（月）～12月15日（月）

調査対象

ぐんまこどもモニター 298名

調査方法

WEB（フォーム）による回答

回答数・回答率

279名、93.6%

		第3回アンケート回答		
年齢区分	モニター数	人数	構成比	率
合計	298名	279名	—	93.6%
小学生 (4～6年生)	106名	99名	35.5%	93.4%
中学生	103名	98名	35.1%	95.1%
高校生世代	43名	43名	15.4%	100.0%
大学生世代	46名	39名	14.0%	84.8%

アンケートの質問

【群馬での暮らしについて】



- 1.通学時間はどれくらいですか？
- 2.どんな手段で学校に通っていますか？
- 3.休みの日によく遊びに行く場所はどこですか？
- 4.群馬県内の好きなおでかけスポットはどこですか？具体的な施設名を教えてください。
- 5.参加して楽しい、楽しかった地域の行事やお祭りがあれば教えてください。
- 6.将来、群馬に住み続けたいと思いますか？
- 7.もっとたくさんの人に「群馬に住みたい」と思ってもらうために、群馬県はどんなことをしたらいいと思いますか？アイデアがあれば、教えてください。

【群馬県の農畜産物について】



- 8.「G-アナライズ&PRチーム」の取り組みについて知っていますか？
- 9.「G-アナライズ&PRチーム」が調べたりみんなに広めたりしている次の農畜産物について、「名前を見聞きしたことがある」または、「力を入れて宣伝していることを知っている」ものを全て選んでください。
- 10.群馬県で作られている「野菜・くだもの・お肉」などを、ふだん食べていますか？
- 11.群馬県で作られている「野菜・くだもの・お肉」の中で、あなたが好きなものは何ですか？
- 12.群馬県で作られている「野菜・くだもの・お肉」などを、もっと食べたいと思いますか？
- 13.群馬県で作られている「野菜・くだもの・お肉」などを、もっと食べたいくなるようなアイデアがあれば教えてください。
- 14.食育の授業などで食べ物について学んだり、農業を体験したりしたことはありますか？
- 15.学校の給食や家のごはんで、群馬県で作られている「野菜・くだもの・お肉」などが出ると、うれしいですか？
- 16.「こんにゃく」は、群馬県の特産品であることを知っていますか？
- 17.「こんにゃく」を、もっとみんなに知ってもらったり食べてもらったりするために、「学校の給食にこんにゃくを使ったメニューを入れること」について、どう思いますか？
- 18.問17でどうしてそう思ったのか理由を教えてください。

アンケートの質問

【ICTの活用について】



19. パソコンやタブレット、スマートフォンなどのICTを使って「情報収集」することはありますか？
20. パソコンやタブレット、スマートフォンなどのICTを使って「情報の分析」することはありますか？
21. パソコンやタブレット、スマートフォンなどのICTを使って「自分の考えを発信」することはありますか？
22. どのような場所や機会があれば、「ICTを使った情報の収集、分析、自分の考えを発信する活動」をみんなが経験できるようになると思いますか？
アイデアがあれば教えてください。

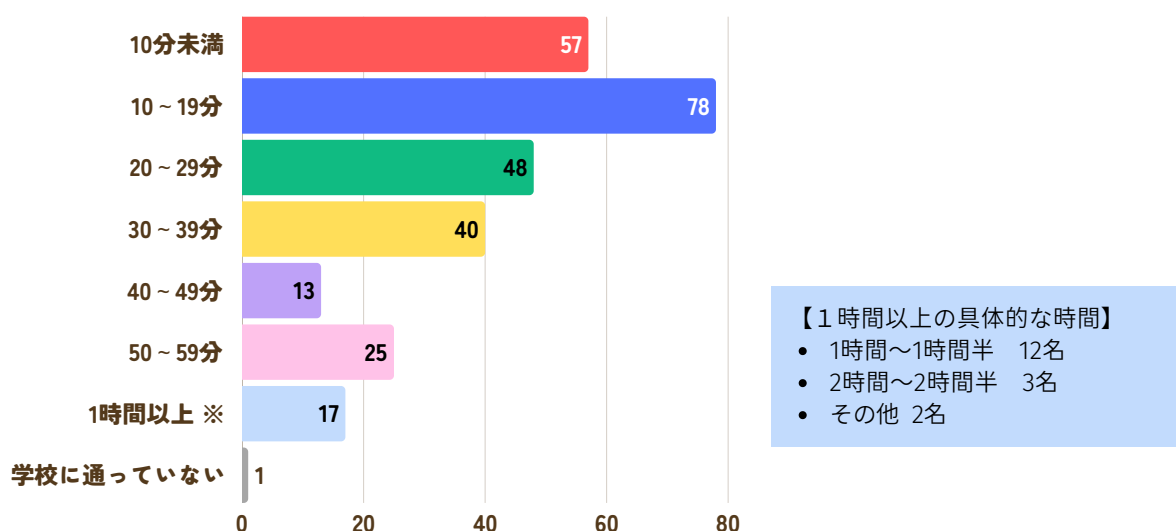
質問1 通学時間はどれくらいですか？

- ・ 全体では回答の多い順に「10～19分」、「10分未満」、「20～29分」でした。
- ・ 小学生と中学生では、通学時間が30分未満の人の割合が高く、それぞれ7割以上を占めました。
- ・ 高校生世代は「50～59分」と答えた人の割合が高く、23.3%でした。
- ・ 大学生世代は「50～59分」と「1時間以上」と答えた人の割合が高く、いずれも23.1%でした。

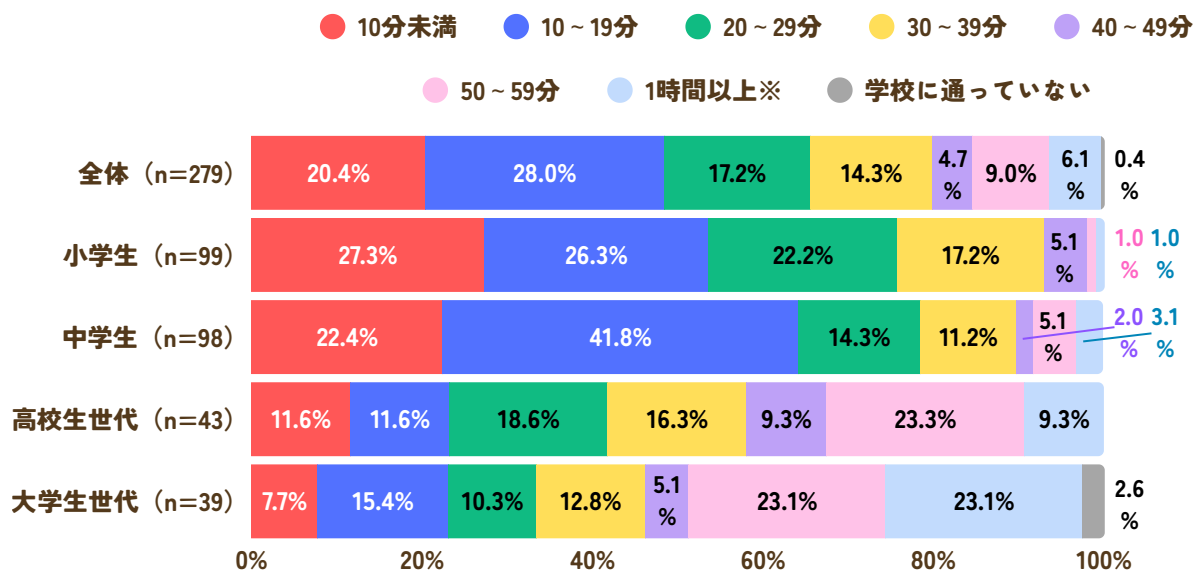
【回答項目】

1. 10分未満 2. 10～19分 3. 20～29分 4. 30～39分 5. 40～49分 6. 50～59分 7. 1時間以上※ 8. 学校に通っていない
※1時間以上の方は具体的な時間を教えてください

■ 全体合計数（n=279）



■ 年次別パーセント



※端数処理の都合により、内訳の合計が100%にならないことがあります。

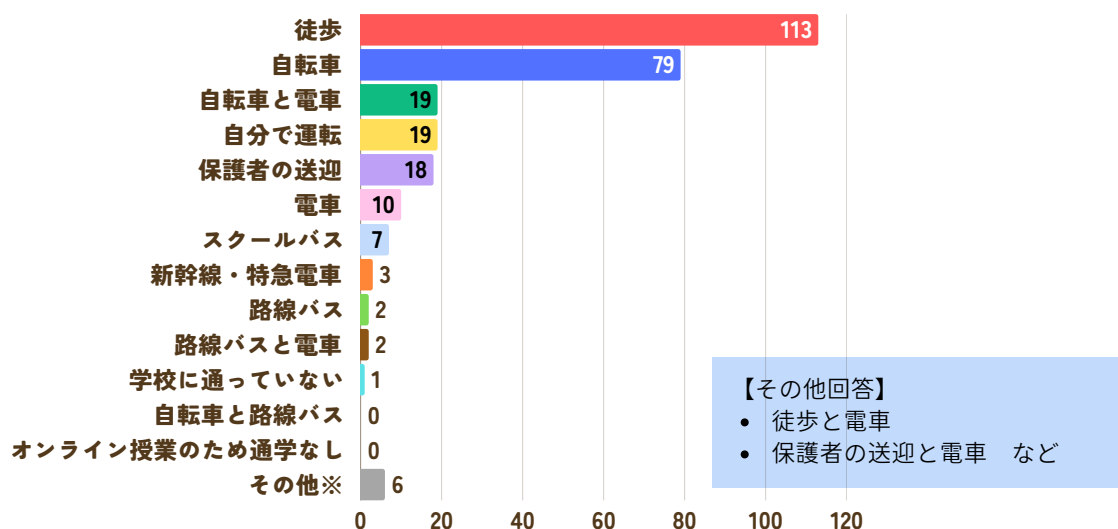
質問2 どんな手段で学校に通っていますか？

- ・ 全体では回答の多い順に「徒歩」、「自転車」が多く、「自転車と電車」と「自分で運転」が同率で続きました。
- ・ 小学生は他の世代と比べて「徒歩」と答えた人の割合が最も高く86.9%でした。
- ・ 中学生と高校生世代は「自転車」と答えた人の割合が最も高くそれぞれ57.1%、41.9%でした。
- ・ 大学生世代は「自分で運転」と答えた人の割合が最も高く48.7%でした。

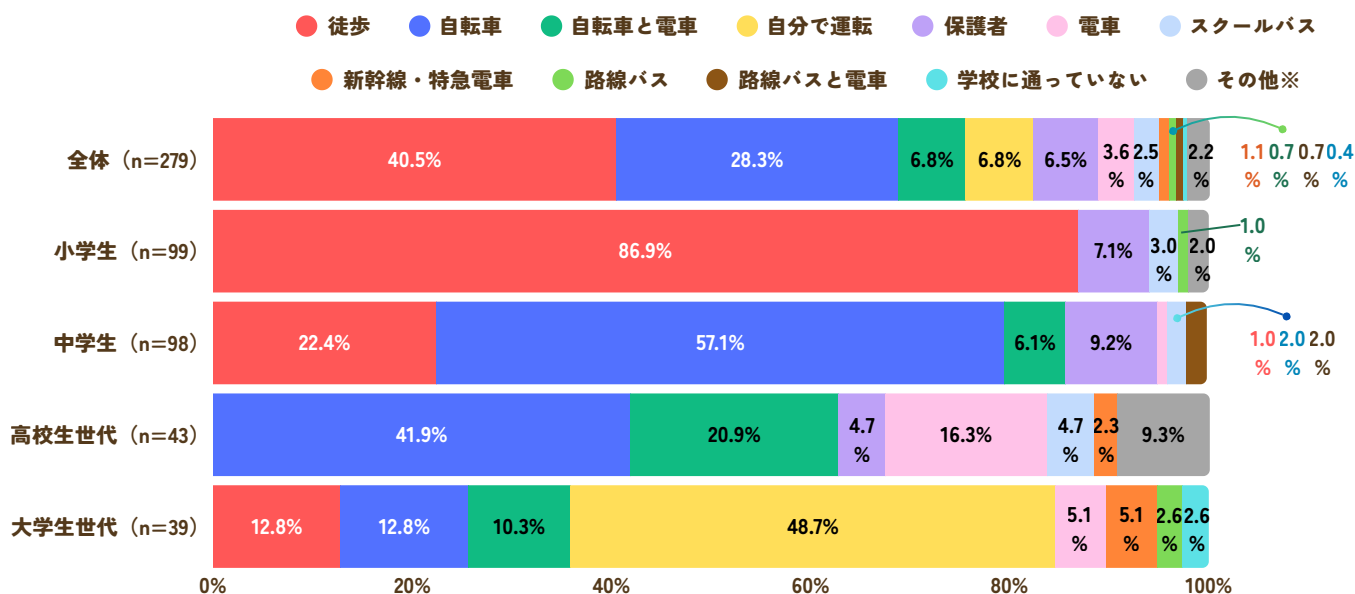
【回答項目】

1.徒歩 2.自転車 3.スクールバス 4.路線バス 5.電車 6.自転車と路線バス 7.自転車と電車 8.路線バスと電車 9.新幹線もしくは特急電車
10.保護者の送迎 11.自分で運転（車、バイク、原付など） 12.オンライン授業のため、通学なし 13.学校に通っていない 14.その他※
※1~13にあてはまらない場合は具体的な手段を記入してください

■ 全体合計数（n=279）



■ 年次別パーセント



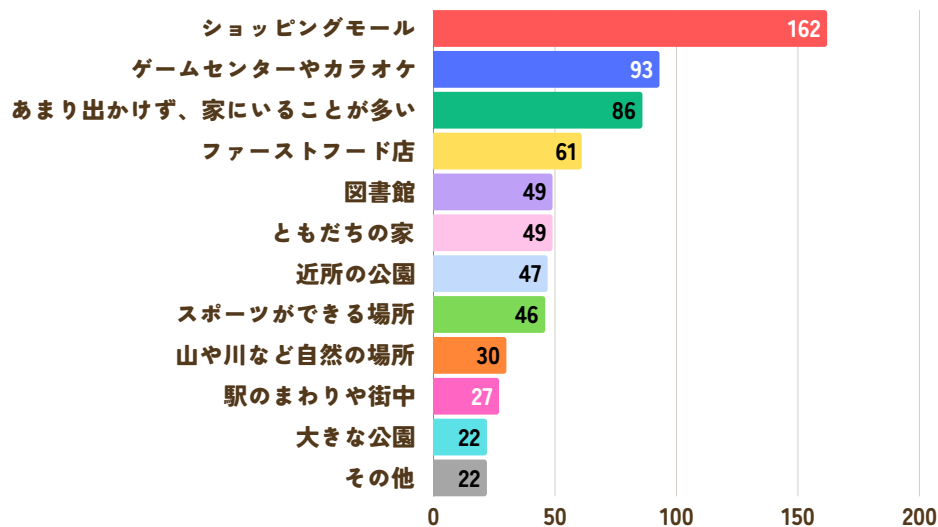
質問3 休みの日によく遊びに行く場所はどこですか？ 【いくつでも選べます】

- ・ 全体では回答の多い順に「ショッピングモール」、「ゲームセンターやカラオケ」、「あまり出かけず、家にいることが多い」でした。
- ・ 全ての世代で「ショッピングモール」と答えた人の割合が最も高い結果になりました。
- ・ 「その他」の回答では、「学校や児童館」、「博物館や美術館」があがりました。

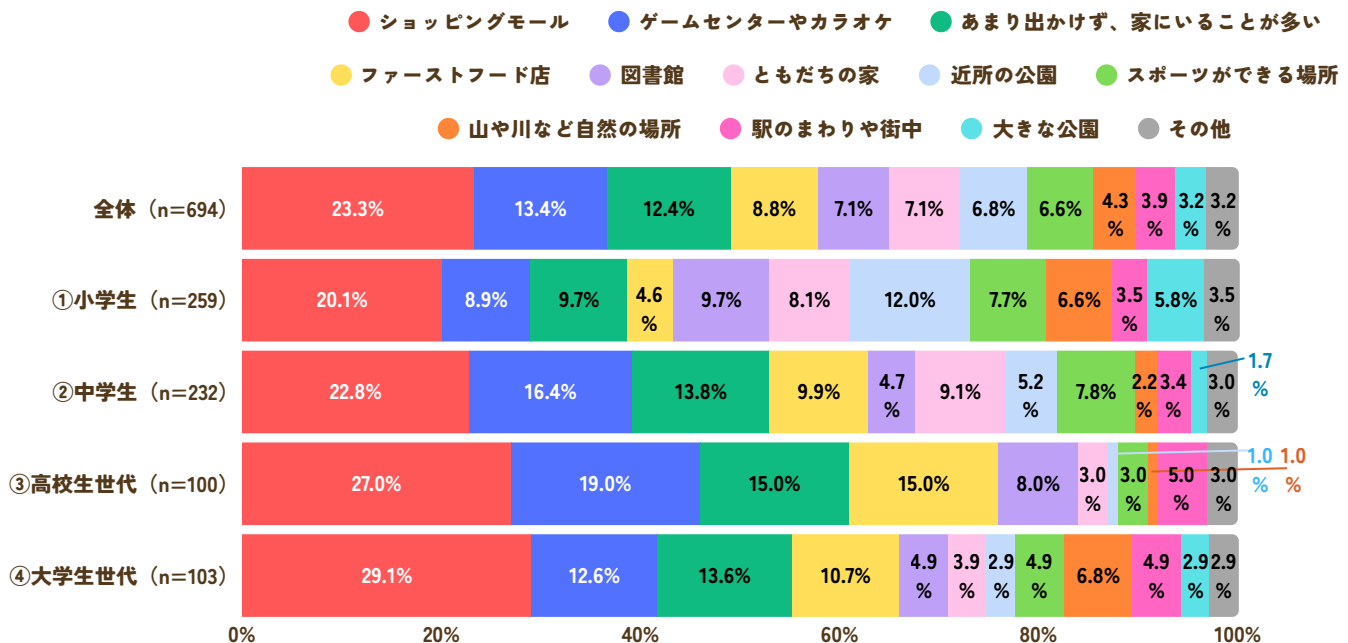
【回答項目】

1.近所の公園 2.大きな公園 3.ショッピングモール 4.ゲームセンターやカラオケ 5.ファーストフード店 6.図書館 7.スポーツができる場所 8.ともだちの家 9.山や川など自然の場所 10.駅のまわりや街中 11.あまり出かけず、家にいることが多い 12.その他

■ 全体合計数（n=694）



■ 年次別パーセント



【群馬での暮らしについて】

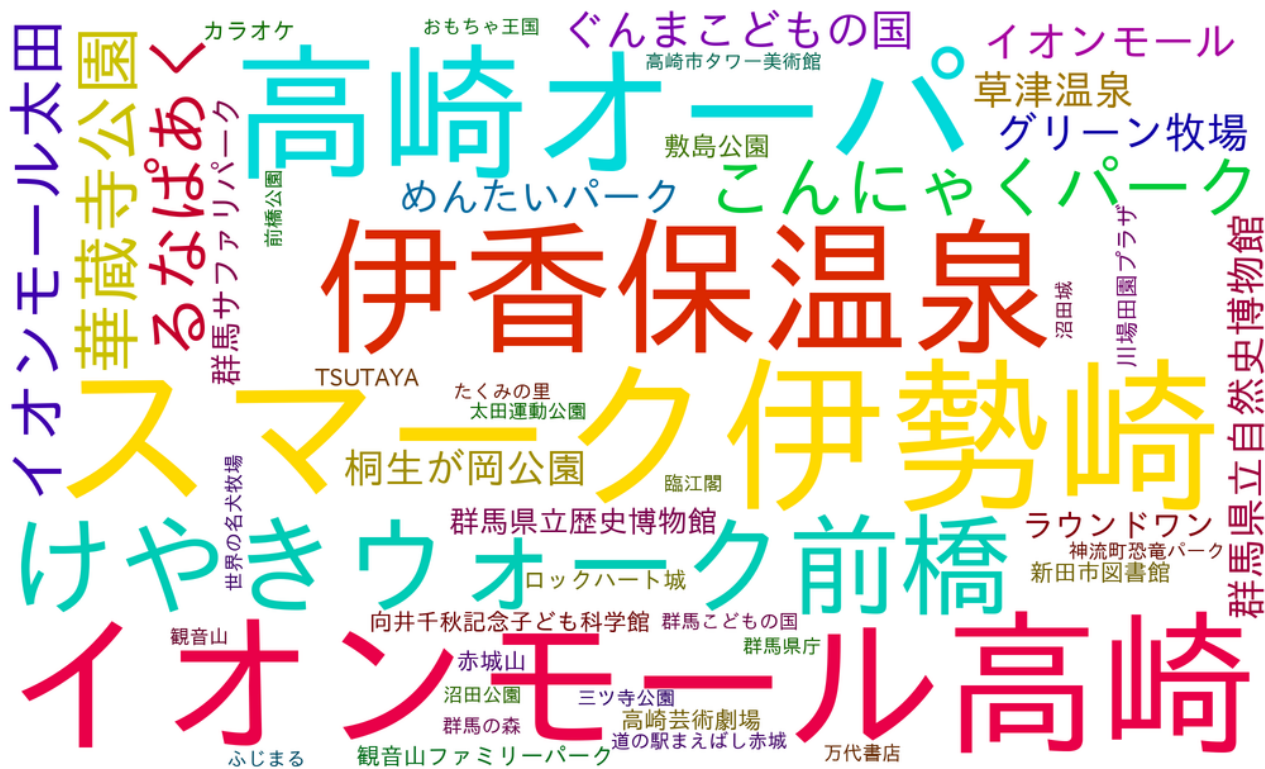
質問4

群馬県内の好きなおでかけスポットはどこですか？具体的な施設名を教えてください。（自由記述200字以内）

(自由記述200字以内)

例：るなばあく：前橋市、群馬サファリパーク：富岡市、軽井沢おもちゃ王国：嬬恋村、伊香保グリーン牧場：渋川市、ロックハート城：高山村、こんにゃくパーク：甘楽町

- ・「イオンモール高崎」、「スマーク伊勢崎」、「高崎オーパ」、「けやきウォーク前橋」などショッピングモールの名前が多くあがりました。
- ・「群馬県立自然史博物館」や「群馬県立歴史博物館」などの施設名もあがりました。
- ・「伊香保温泉」、「草津温泉」というスポットもあがりました。



※Microsoft 365 Copilotによるワーククラウド分析

【ワードクラウド】

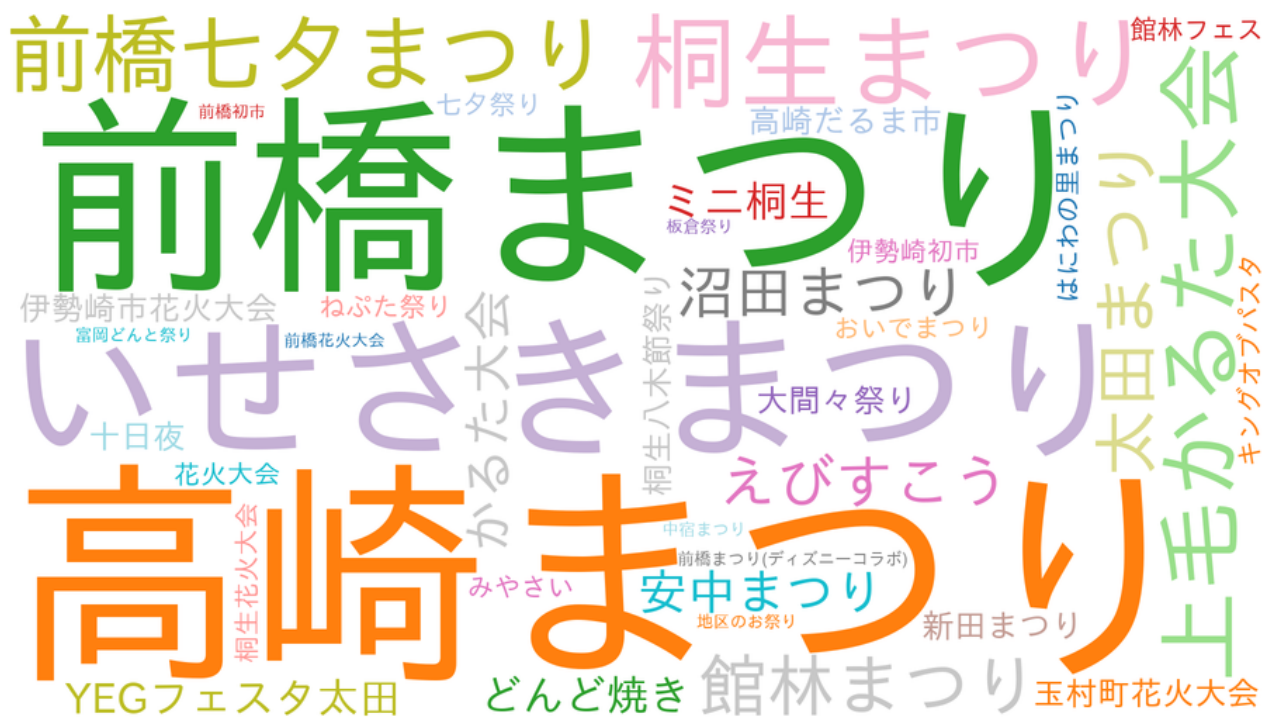
ワードクラウドとは、複数の言葉を出現頻度に応じて大きさを変えて並べた可視化図です。たくさん出てきた言葉ほど大きく、あまり出てこなかった言葉は小さく表示されています。

【群馬での暮らしについて】

質問5 参加して楽しい、楽しかった地域の行事やお祭りがあれば教えてください。
(自由記述200字以内)

例：高崎祭り、中之条町の鳥追い祭り、富岡市のげんきフェスタ、赤城神社のどんと焼き、玉村町の上毛かるた大会、
〇〇町△△地区のこども会キャンプなど

- ・「高崎まつり」、「前橋まつり」、「いせさきまつり」など、地域のまつりの名前があがりました。
- ・「伊勢崎市花火大会」、「玉村町花火大会」など、地域の花火大会の名前があがりました。
- ・「上毛かるた大会」、「キングオブパスタ」など、群馬県ならではのイベントがあがりました。



※Microsoft 365 Copilotによるワードクラウド分析

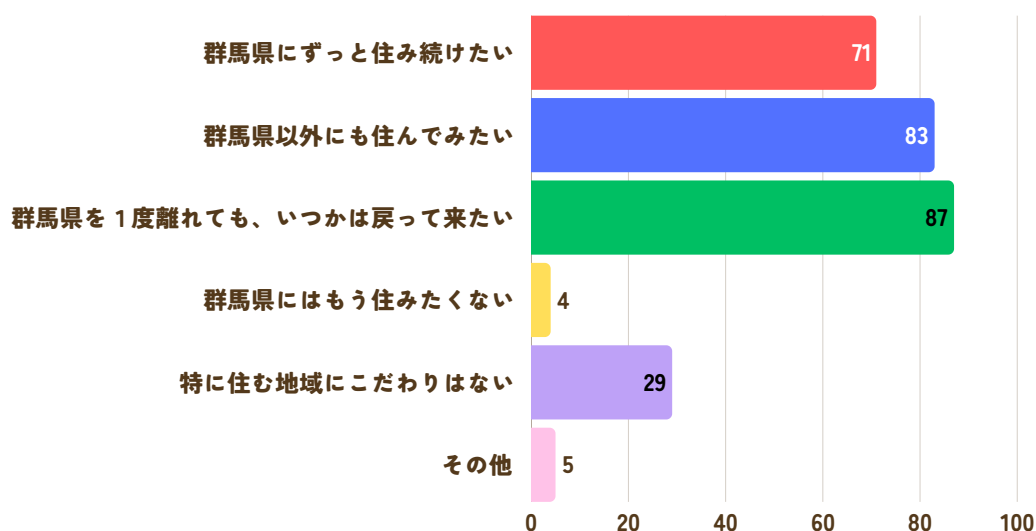
質問6 将来、群馬に住み続けたいと思いますか？

- ・ 全体では回答の多い順に「群馬県を1度離れても、いつかは戻って来たい」、「群馬県以外にも住んでみたい」、「群馬県にずっと住み続けたい」でした。
- ・ 「群馬県を1度離れても、いつかは戻って来たい」と答えた人の割合は、高校生世代は高く44.2%、大学生世代では低く15.4%でした。
- ・ 一方で、「群馬県にずっと住み続けたい」と答えた人の割合は、高校生世代では低く14.0%、大学生世代では高く48.7%でした。

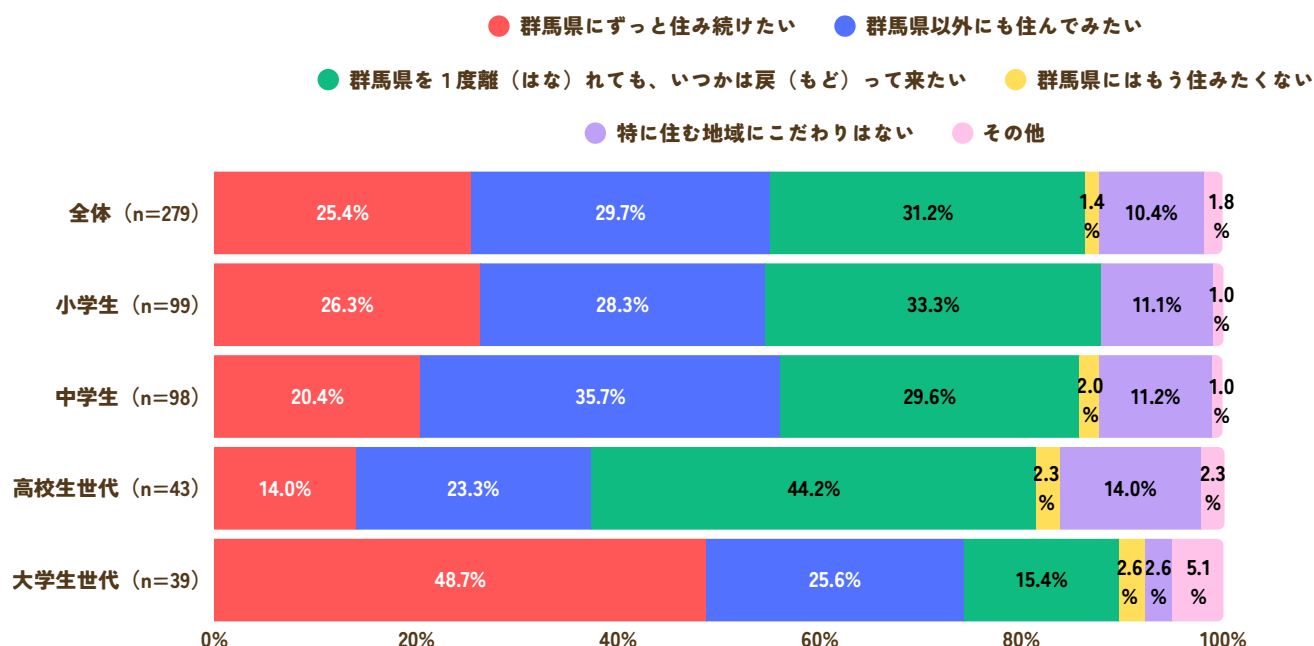
【回答項目】

1. 群馬県にずっと住み続けたい 2. 群馬県以外にも住んでみたい 3. 群馬県を1度離れても、いつかは戻って来たい
4. 群馬県にはもう住みたくない 5. 特に住む地域にこだわりはない 6. その他

■ コメントの全体合計数（n=279）



■ コメントの種類別パーセント（年次別）



【群馬での暮らしについて】

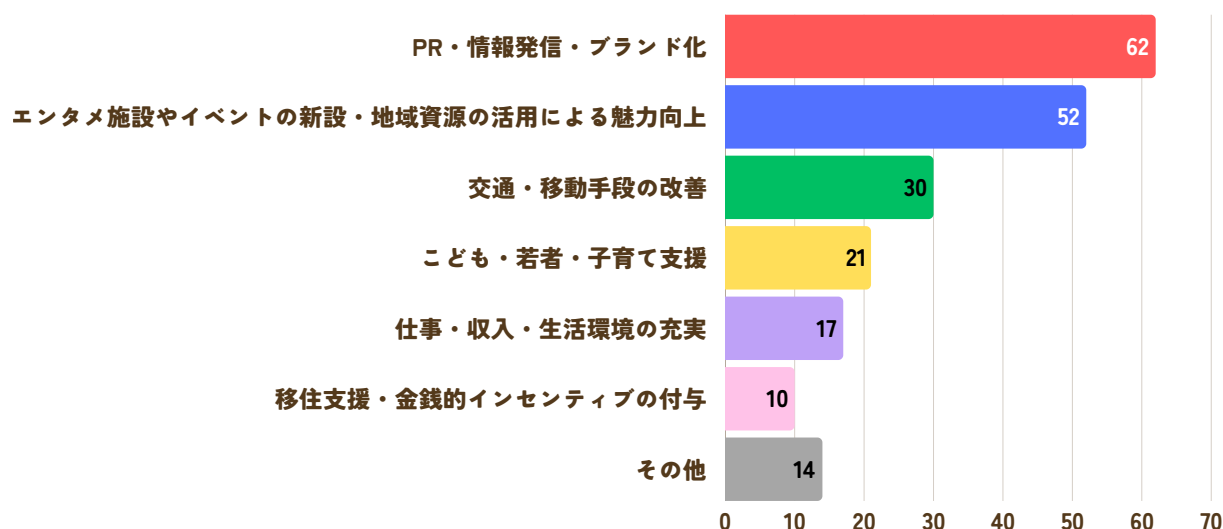
質問7

もっとたくさんの人に「群馬に住みたい」と思ってもらうために、群馬県はどんなことをしたらいいと思いますか？アイデアがあれば、教えてください。

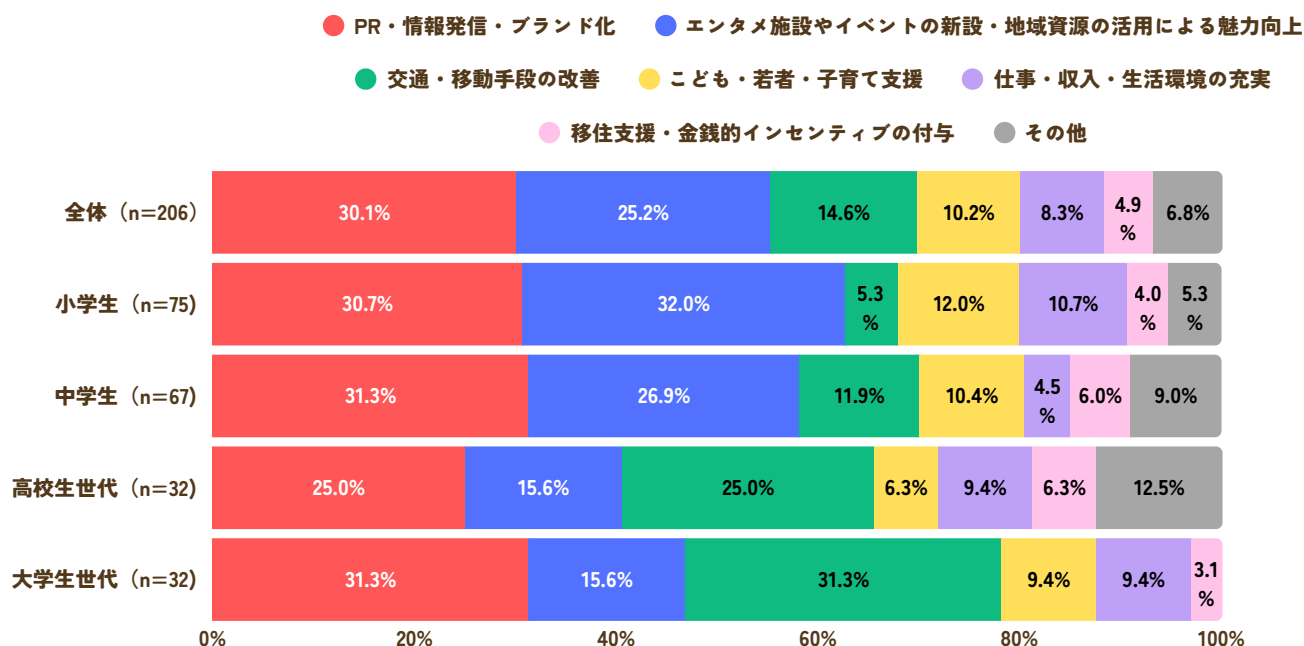
(自由記述200字以内)

- ・ 全体ではコメントの多い順に「PR・情報発信・ブランド化」、「エンタメ施設やイベントの新設・地域資源の活用による魅力向上」、「交通・移動手段の改善」でした。
- ・ 小学生は「エンタメ施設やイベントの新設・地域資源の活用による魅力向上」に関するコメントをした人の割合が高く32.0%でした。
- ・ 大学生世代では「PR・情報発信・ブランド化」「交通・移動手段の改善」と答えた割合が高く、いずれも31.3%でした。

■ コメントの全体合計数 (n=206)



■ コメントの種類別パーセント (年次別)



【群馬での暮らしについて】

質問7

もっとたくさんの人に「群馬に住みたい」と思ってもらうために、群馬県はどんなことをしたらいいと思いますか？アイデアがあれば、教えてください。

(自由記述200字以内)

～具体的なコメント（抜粋）～

PR・情報発信・ブランド化

- 群馬県の魅力は数え切れないほどあるものの、知らない人が多いので、もっと魅力を県外の人に知ってもらうために県外の人を中心とした群馬県の魅力を伝えるイベントなどを開いたほうがいいと思います。
(小学生)
- 群馬の観光スポットなどを紹介するパンフレットを作る。(小学生)
- 群馬県は、1人あたりの県民所得が全国トップクラスだということをもっとアピールしてほしい。華やかな都会にはなれなくても、誰にも嫌われない素敵な場所にはなれるはず！(中学生)
- 群馬にゆかりのある色んな人物やコンテンツ、アニメなどとコラボしてみる、今よりもっとSNSなどで発信してみる。(高校生世代)
- 震災のリスクが比較的小さいことや、交通の便が良くて他の地域にアクセスしやすいことをアピールする
といいと思います。(高校生世代)
- 群馬県で過ごして良かったところをSNSで発信すると良いと思います。(高校生世代)

エンタメ施設やイベントの新設・地域資源の活用による魅力向上

- アニメのイベントを増やす。(小学生)
- もっと若者に流行りそうな所を設立したらいいと思う。(小学生)
- 群馬県のシンボリックな場所を作る、キャッチコピーが印象的な場所を作る（例：「日本一大きい〜」）。(中学生)
- 新たなテーマパーク建設（例えば複数のアニメがコラボしているテーマパーク）。(高校生世代)
- 温泉サブスク的なものを充実させる。実際に体験できるサブスク。(大学生世代)
- 群馬に来て群馬の良さについてを知ってもらうための動機付けとして、群馬県内にある数々の会場（高崎アリーナ、Gメッセ、高崎芸術劇場、グリーンドーム前橋など）を幅広いジャンルのアーティストの方々に提供したり、フェスを開催したりすることで、若者を中心とした県外の人々に、都心からのアクセスの良さや整備された駅周辺施設など、「住む」観点における群馬の魅力を身をもって実感してもらえるのではないかと考えた。(大学生世代)

交通・移動手段の改善

- バスの路線や本数を増やして、車がなくても生活できるようにする。今は駅に向かう路線ばかりなので、南北移動が多いが、例えば上武道路を走ってスマークに行く路線や、東部バイパスを東西に走って、東警察署の方から群大病院に行ける路線などを作ったらいいと思う。(小学生)
- 車以外で遠くに行く手段を増やして欲しい。(中学生)
- 車に頼らなくても移動できるようにしたらいいと思います！(高校生世代)
- 交通があまり便利ではない。車が主なので都心の電車移動が慣れている人たちからすると車移動で生活するのはかなりハードルが高い気がする。移住希望ランキングは一位だけどそこが理由で諦めてる人は少ない気がします。(大学生世代)

【群馬での暮らしについて】

質問7

もっとたくさんの人に「群馬に住みたい」と思ってもらうために、群馬県はどんなことをしたらいいと思いますか？アイデアがあれば、教えてください。

(自由記述200字以内)

～具体的なコメント（抜粋）～

こども・若者・子育て支援

- 子供にお金を配る、子供食堂を一地区一つ作る。(中学生)
- 子育て世代への支援を厚くする。(中学生)
- 小さい子向けの公園ばかりでなく、中高生も楽しめる公園が欲しい。スケートボードや、バスケットボールの屋外屋内コートなど、運動出来る場所をもっと増やして欲しい。あと、総合運動公園によく行くが、ちょっと暗いのもっと明るい雰囲気だと走ったりしやすい。友達と行きやすい駅の近くや、自転車でも行きやすいところだと良いと思う。近くに飲食店があったらそこでお昼を食べたり友達と話したりできる。前橋の町中の整備が進むと聞いたので、広瀬川の近くとかに運動出来る場所が出来たら楽しいと思う。(中学生)
- いろんな地域に子供向けのスポットがもっとあるといい。(高校生世代)

仕事・収入・生活環境の充実

- 物価を下げる。(小学生)
- 水道代や電気代をやすくする。(小学生)
- 安全に過ごせる様に街の整備をすること。(小学生)
- 安定して働ける場所を作る。(高校生世代)
- アルバイトの最低賃金を上げる。(大学生世代)
- 高崎前橋の方には結構お店あるけど館林ら辺にはショッピングモールがないので作って欲しい。(大学生世代)

移住支援・金銭的インセンティブの付与

- 移住した人には半年家賃を半額にする、移住する前にその地区にふるさと納税をしていたら資金免除などの制度を取り入れたり中学生までは施設の入場料を無料にするなど。(中学生)
- 群馬に移住してくる人に住宅を見つける支援をする。(高校生世代)
- 高校卒業後も群馬に住み続けてくれる学生には支援金を付与する。(高校生世代)

その他

- 今のままのかんじを維持していくこと。(中学生)
- 群馬県民ファーストを作る。(中学生)

質問8 「G-アナライズ&PRチーム」の取り組みについて知っていますか？

- 全体の認知度※は3.9%で、世代別では以下の円グラフのような回答になりました。
- 世代別の認知度は高い順に、高校生世代、大学生世代、小学生、中学生でした。

【回答項目】 1.知っている 2.チームの名前だけ聞いたことがある 3.知らない

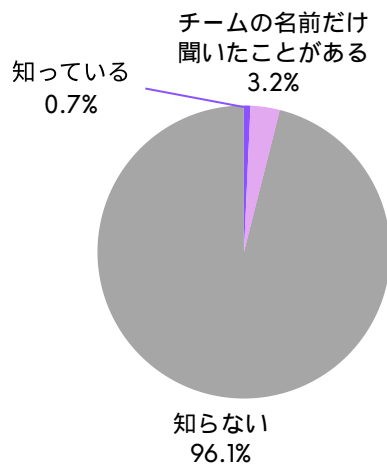
※「認知度」は「1.知っている」「2.チームの名前だけ聞いたことがある」の合計

【G-アナライズ&PRチーム】

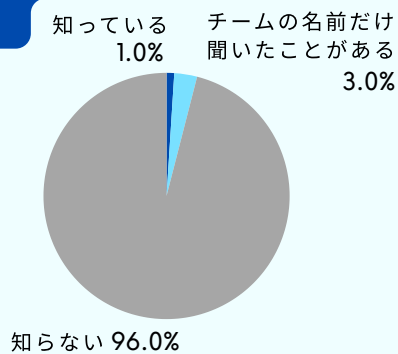
群馬県では、知事がリーダーである「G-アナライズ&PRチーム」を作り、群馬県で作られている野菜・くだもの・お肉などの農畜産物について、おいしさや健康に関わる成分を科学的に調べています。そして、その調べた結果をみんなに伝え、食べる人の意見や反応を作る人に伝え、より良い農畜産物づくりにつなげる取り組みをしています。

全体の認知度

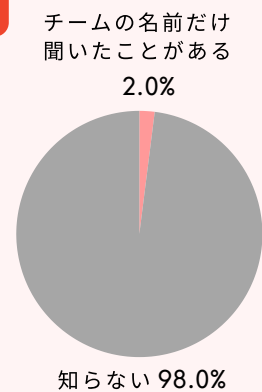
3.9% (n=279)



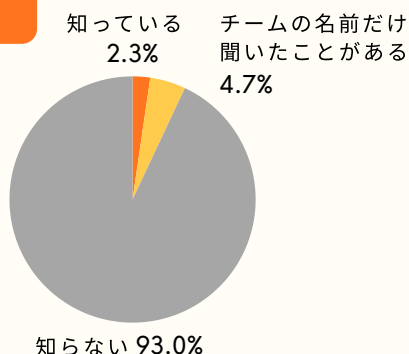
小学生 (n=99)



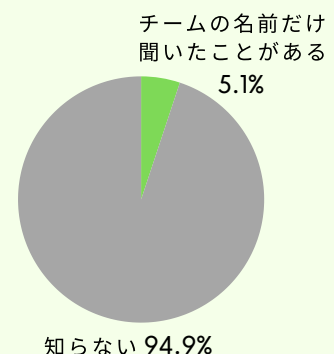
中学生 (n=98)



高校生世代 (n=43)



大学生世代 (n=39)



【群馬県の農畜産物について】

G-アナライズ&PRチーム

分析レポートを群馬県ホームページに公開しています。

https://aic.pref.gunma.jp/know/prefectural-action/analyze_pr



プロモーション動画も
ぜひご視聴ください！



Ganalyze & PR

[https://www.youtube.com/playlist?
list=PLEw1MzzXRq9YzTu96TcPOi9UGGs7rbxe](https://www.youtube.com/playlist?list=PLEw1MzzXRq9YzTu96TcPOi9UGGs7rbxe)

【群馬県の農畜産物について】

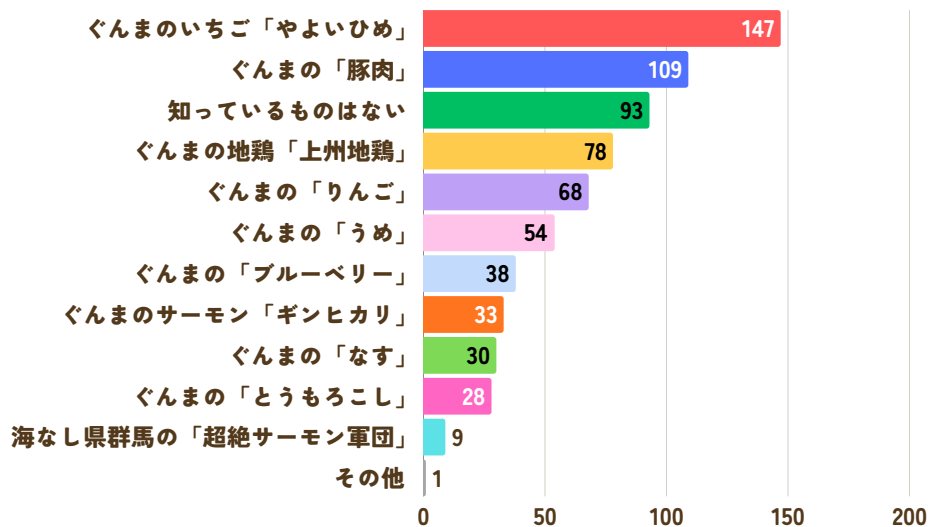
質問9 「G-アナライズ&PRチーム」が調べたりみんなに広めたりしている次の農畜産物について、「名前を見聞きしたことがある」または、「力を入れて宣伝していることを知っている」ものを全て選んでください。

- ・ 全体では回答の多い順に「ぐんまのいちご『やよいひめ』」、「ぐんまの『豚肉』」、「知っているものはない」でした。
- ・ 全ての世代で「ぐんまのいちご『やよいひめ』」と答えた人の割合が最も高い結果になりました。

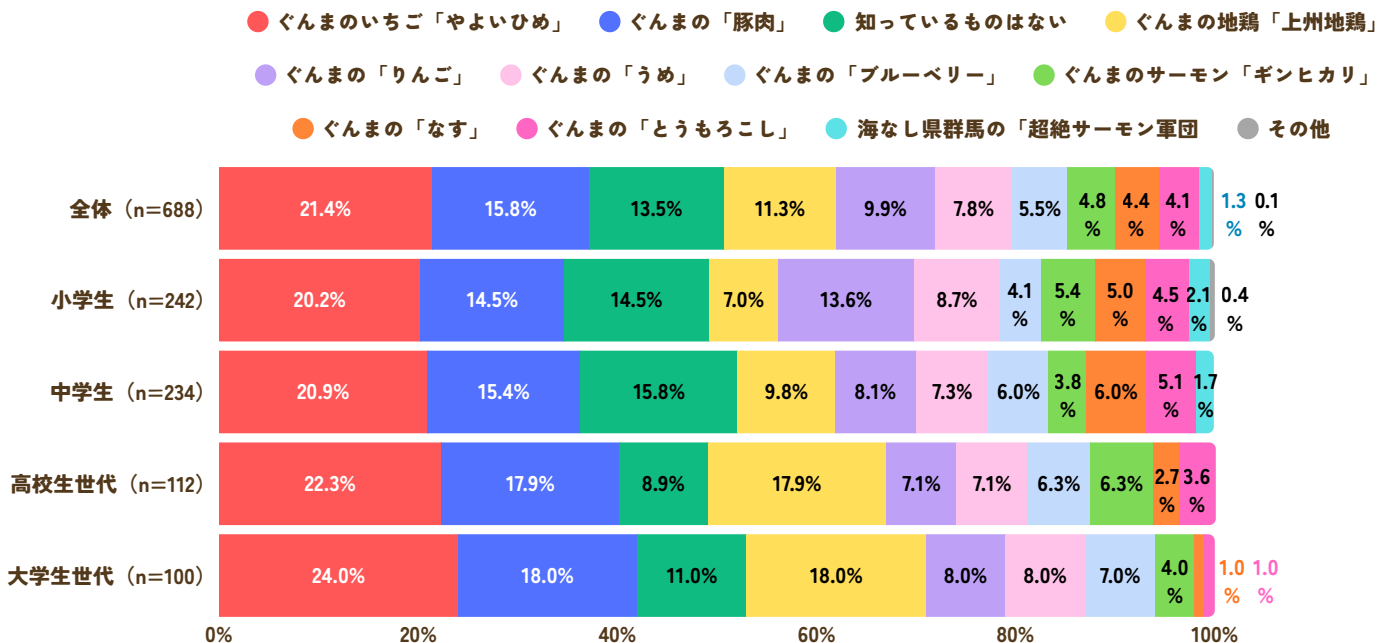
【回答項目】

- 1.ぐんまのいちご「やよいひめ」 2.ぐんまの「豚肉」 3.ぐんまの「とうもろこし」 4.ぐんまの地鶏「上州地鶏」 5.ぐんまの「りんご」
6.ぐんまの「うめ」 7.ぐんまのサーモン「ギンヒカリ」 8.ぐんまの「ブルーベリー」
9.海なし県群馬の「超絶サーモン軍団」(超絶サーモンV3) 10.ぐんまの「なす」 11.知っているものはない 12.その他

■ 全体合計数 (n=688)



■ 年次別パーセント



【群馬県の農畜産物について】

質問10

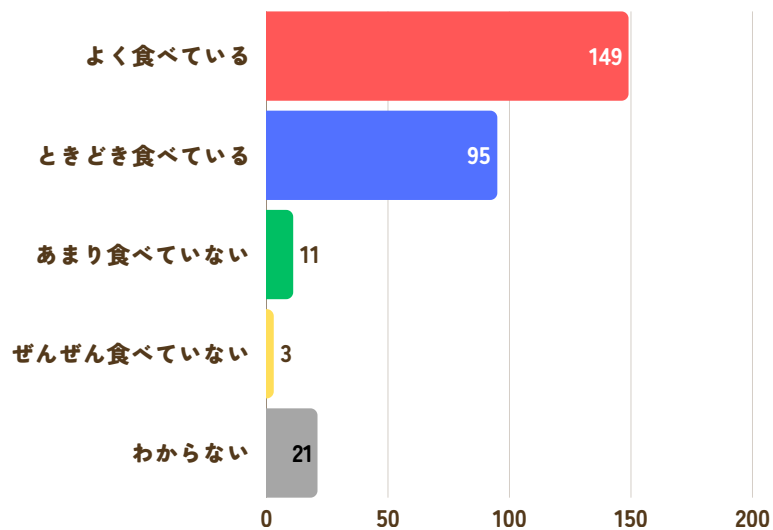
群馬県で作られている「野菜・くだもの・お肉」などを、
ふだん食べていますか？

- ・ 全体では「よく食べている」、「ときどき食べている」答えた人の割合が合わせて87.5%を占めました。
- ・ 「よく食べている」と答えた人の割合は、世代が下がるにつれて高くなる結果になりました。

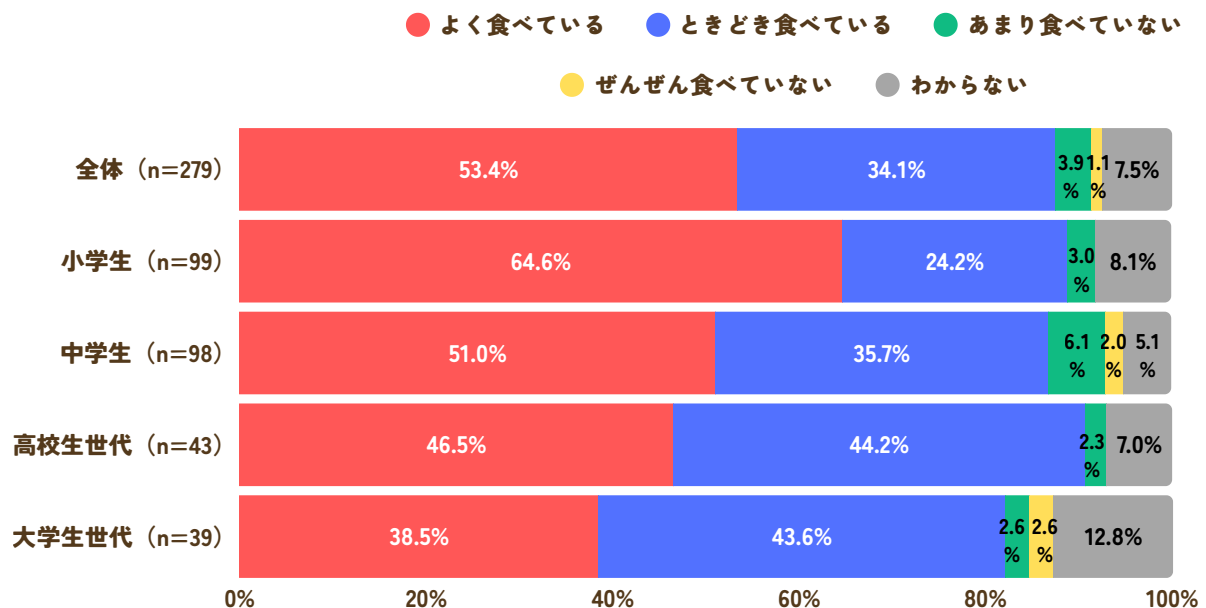
【回答項目】

1.よく食べている 2.ときどき食べている 3.あまり食べていない 4.ぜんぜん食べていない 5.わからない

■ 全体合計数（n=279）



■ 年次別パーセント



【群馬県の農畜産物について】

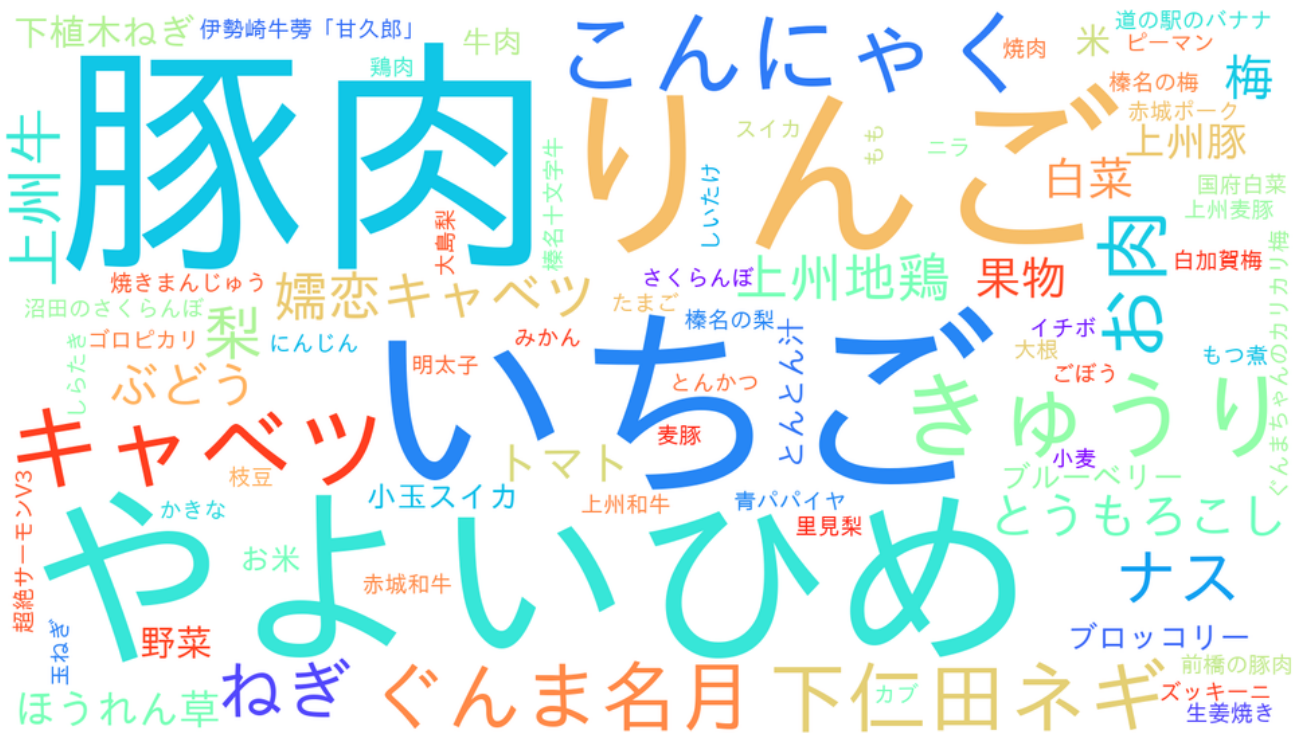
質問11

群馬県で作られている「野菜・くだもの・お肉」の中で、
あなたが好きなものは何ですか？

(自由記述200字以内)

- ・「豚肉」、「りんご」、「いちご」、「こんにゃく」についてのコメントが多くありました。
- ・「やよいひめ」、「ぐんま名月」などの品種名もあがりました。
- ・「下仁田ねぎ※」、「孀恋キャベツ」などの地域ブランドもあがりました。

※下仁田ねぎは品種であり、地域ブランドとしても取り上げられる野菜です



※Microsoft 365 Copilotによるワードクラウド分析

【群馬県の農畜産物について】

質問12 群馬県で作られている「野菜・くだもの・お肉」などを、もっと食べたいと思いますか？

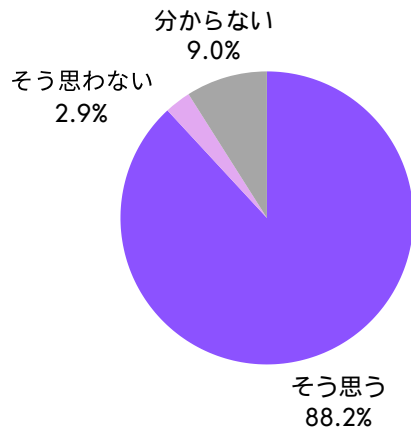
- 全体では「そう思う」と答えた人が88.2%を占めました。
- 「わからない」と答えた人の割合は高校生世代で最も高く、14.0%でした。

【回答項目】

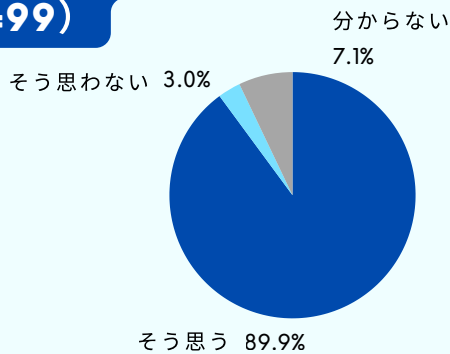
1.そう思う 2.そう思わない 3.わからない

全体の回答

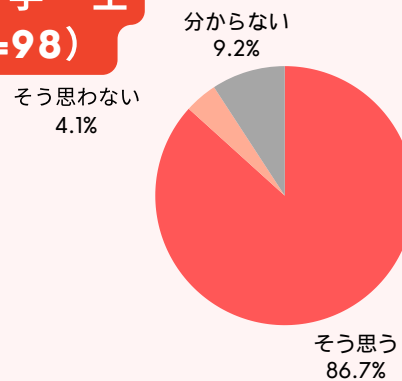
n=279



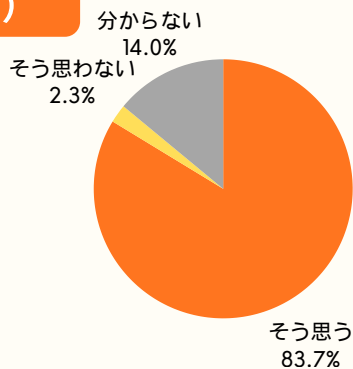
小学生 (n=99)



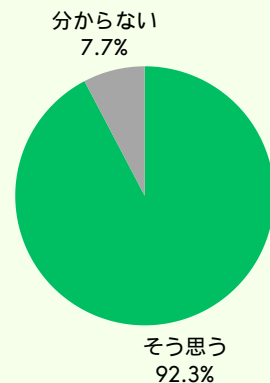
中学生 (n=98)



高校生世代 (n=43)



大学生世代 (n=39)



【群馬県の農畜産物について】

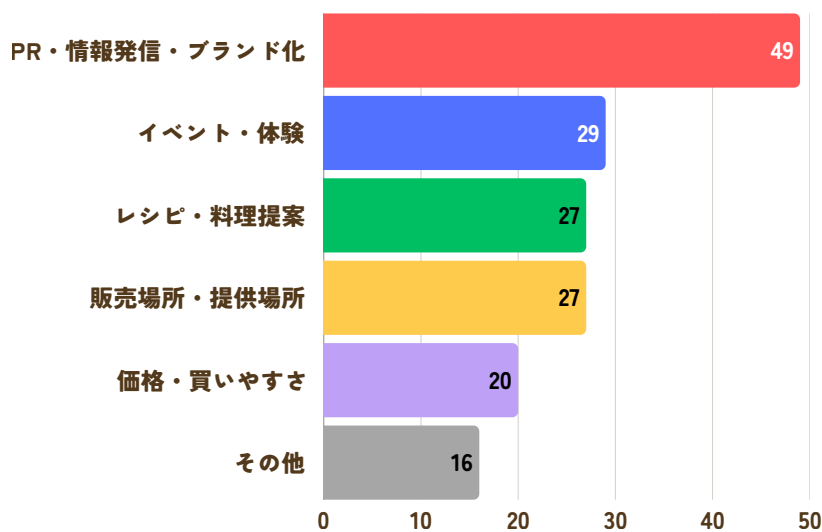
質問13

群馬県で作られている「野菜・くだもの・お肉」などを、もっと食べたいようなアイデアがあれば教えてください。

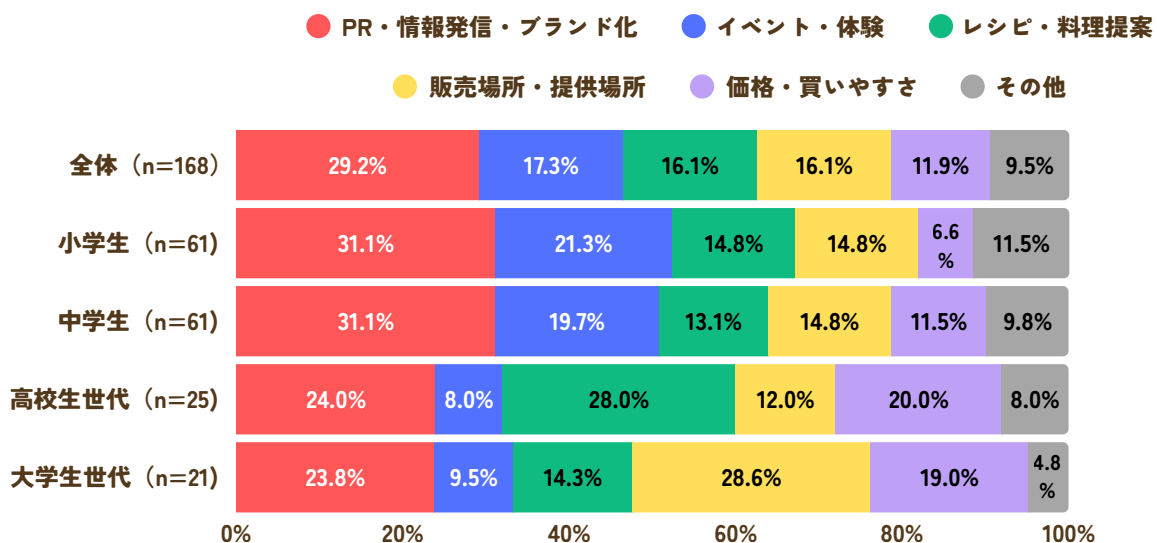
(自由記述200字以内)

- ・ 全体では「PR・情報発信・ブランド化」、「イベント・体験」、「レシピ・料理提案」、「販売場所・提供場所」に関するコメントが多く見られました。
- ・ 高校生世代では、他の世代と比べて「レシピ・料理提案」に関するコメントが多く見られました。
- ・ 大学生世代では、他の世代と比べて「販売場所・提供場所」に関するコメントが多く見られました。

■ コメントの全体合計数 (n=168)



■ コメントの種類別パーセント (年次別)



質問13

群馬県で作られている「野菜・くだもの・お肉」などを、もっと食べたいようなアイデアがあれば教えてください。

～具体的なコメント（抜粋）～

（自由記述200字以内）

PR・情報発信・ブランド化

- 野菜やお肉のキャラクターを作って宣伝したりする。（小学生）
- 群馬県の有名なものを使った料理を作る番組。ぐんまちゃんと群馬県の子どもが一緒につくる。ぐんまちゃんは、手順をかいたプラカードを持つ。（小学生）
- ぐんまちゃんのイラストをつける。（小学生）
- G-アナライズ&PRチームをもっと宣伝する。（大学生世代）

イベント・体験

- 群馬県産のものだけを使った食べ物フェスタをやる。（小学生）
- 詰め放題とか試食会とかイベントを開催する。（小学生）
- 実際に、作っているところを見学したりして農業の大変さについて知ってもらう。（小学生）
- 群馬県で作られた食材を使ったお料理教室を開催する。（中学生）
- 群馬の食材しぼりの料理グランプリでイベントの開催。（中学生）
- 群馬県産の野菜、果物、肉を試食することができるイベントを開催し、美味しかったものに投票できる機会を設ける。（高校生世代）

レシピ・料理提案

- レシピコンテスト。（中学生）
- 写真付きのレシピなどが、食の駅でわかりやすいところに見えるようになっていると群馬の食材で作ってみたいかなと思います。（高校生世代）
- 群馬の食べ物を使ったお菓子などを増やせば知名度も上がって食べたい人も出てくると思った。（高校生世代）
- 新たなご当地グルメ開発。（高校生世代）
- 群馬県の食材を使った季節のレシピを公式LINEやSNSで発信したり、スーパーなどでミニチラシにして配布する。（大学生世代）

販売場所・提供場所

- 学校給食で提供する。（高校生世代）
- お祭りの屋台とかで売る。（高校生世代）
- 道の駅で朝市を行う。（農家さんが軽トラに採れたて食材を載せてきてその場で直接お客さんに売る。）（大学生世代）
- 群馬で作られた特産物しか扱っていない少し高級な感じの飲食店をひらいて、興味を持ってもらう。（大学生世代）
- 地産地消の飲食店を増やす。（大学生世代）

質問13

群馬県で作られている「野菜・くだもの・お肉」などを、もっと食べたいくなるようなアイデアがあれば教えてください。

～具体的なコメント（抜粋）～

（自由記述200字以内）

価格・買いやすさ

- 県民限定の特別価格で提供できるようにする。（中学生）
- 安く売る。（中学生）
- 販売所での特売。（大学生世代）

その他

- ピーマンだったら小さい子が苦くて食べられないから、あまり苦くない品種を作る。（小学生）
- 無農薬。（中学生）
- お土産にする。（中学生）

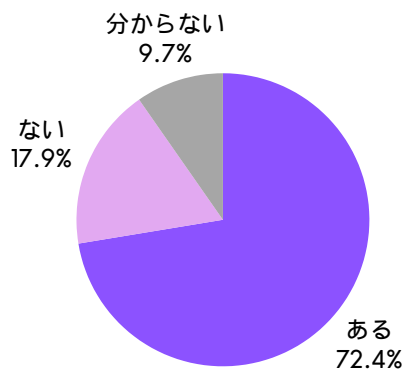
質問14 食育の授業などで食べ物について学んだり、農業を体験したりしたことはありますか？

- 全体では「ある」と答えた人が、全体の72.4%を占めました。
- 「ある」と答えた人の割合は高校生世代と大学生世代が最も高く、いずれも74.4%でした。

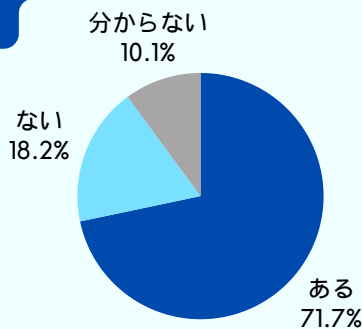
【回答項目】 1.ある 2.ない 3.わからない

全体の回答

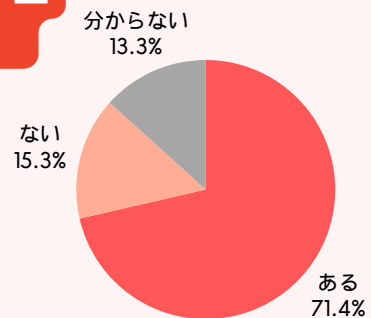
n=279



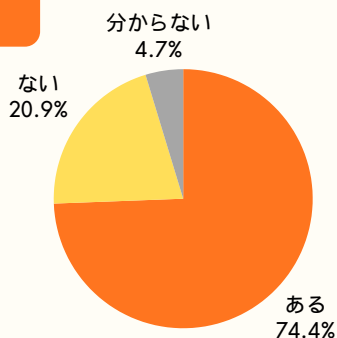
小学生 (n=99)



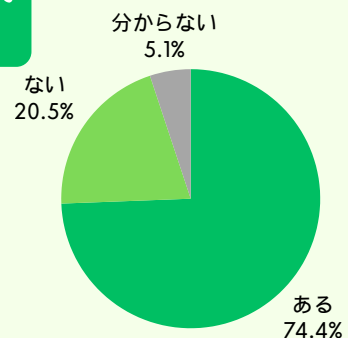
中学生 (n=98)



高校生世代 (n=43)



大学生世代 (n=39)



【群馬県の農畜産物について】

質問15

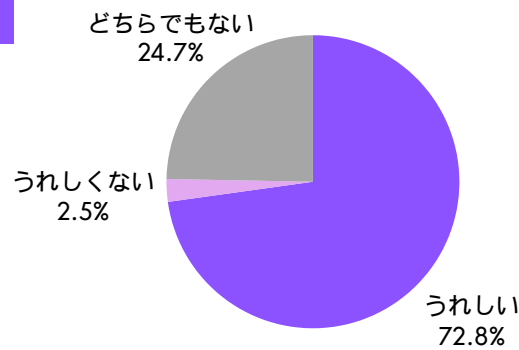
学校の給食や家のごはんで、群馬県で作られている
「野菜・くだもの・お肉」などが出ると、うれしいですか？

- 全体では「うれしい」と答えた人が、全体の72.8%を占めました。
- 「うれしい」と答えた人の割合は、大学生世代が最も高く89.7%でした。

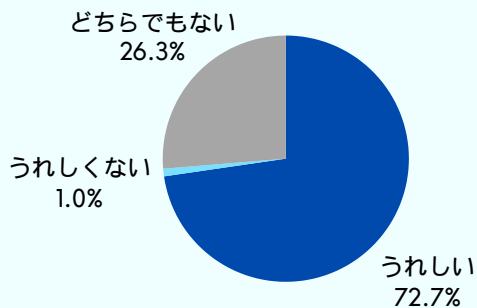
【回答項目】 1.うれしい 2.うれしくない 3.どちらでもない

全体の回答

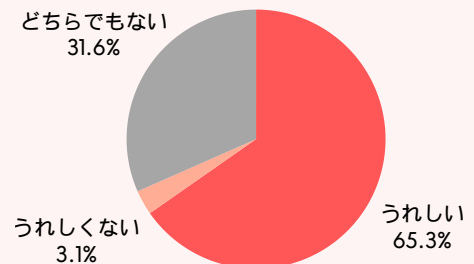
n=279



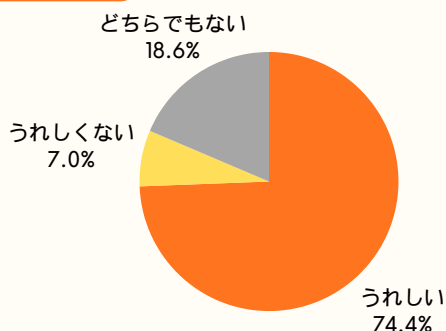
小学生 (n=99)



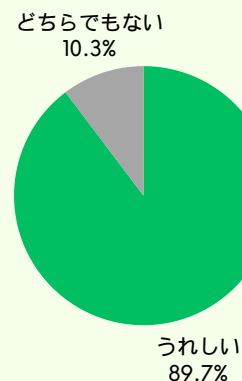
中学生 (n=98)



高校生世代 (n=43)



大学生世代 (n=39)



質問16

「こんにゃく」は、群馬県の特産品であることを知っていますか？

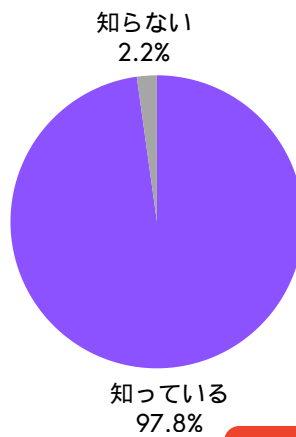
※特産品とは、ある地域で特にたくさん作られていたり、その場所ならではの食べものや物のことです。

- 全体では「知っている」と答えた人が97.8%を占めました。
- 「知っている」と答えた人の割合は、高校生世代が最も高く100%でした。

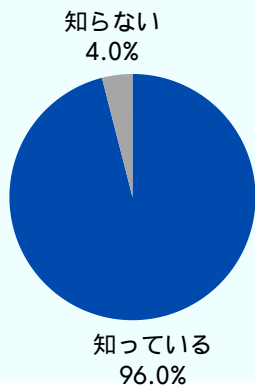
【回答項目】 1.知っている 2.知らない

全体の回答

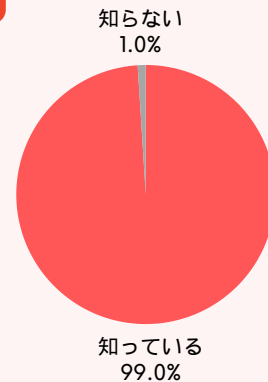
n=279



小学生 (n=99)



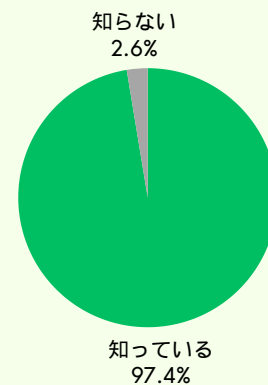
中学生 (n=98)



高校生世代 (n=43)



大学生世代 (n=39)



【群馬県の農畜産物について】

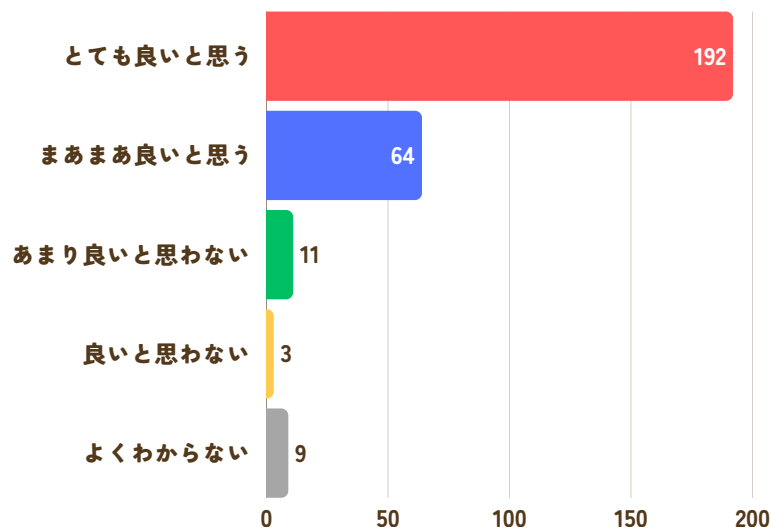
質問17 「こんにゃく」を、もっとみんなに知ってもらったり食べてもらったりするために、「学校の給食にこんにゃくを使ったメニューを入れること」について、どう思いますか？

- ・ 全体では「とても良いと思う」、「まあまあ良いと思う」と答えた人の割合は、合わせて91.7%を占めました。
- ・ 高校生世代では、他の世代と比べて「あまり良いと思わない」と回答した人の割合が高く、11.6%でした。

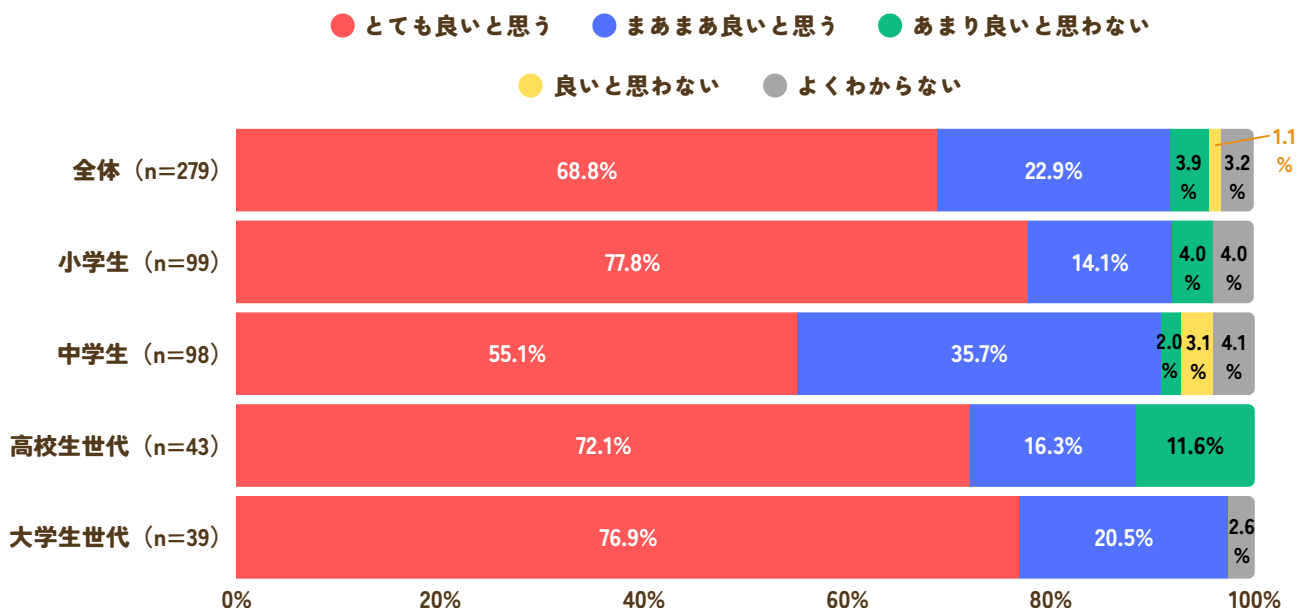
【回答項目】

1.とても良いと思う 2.まあまあ良いと思う 3.あまり良いと思わない 4.良いと思わない 5.よくわからない

■ 全体合計数（n=279）



■ 年次別パーセント

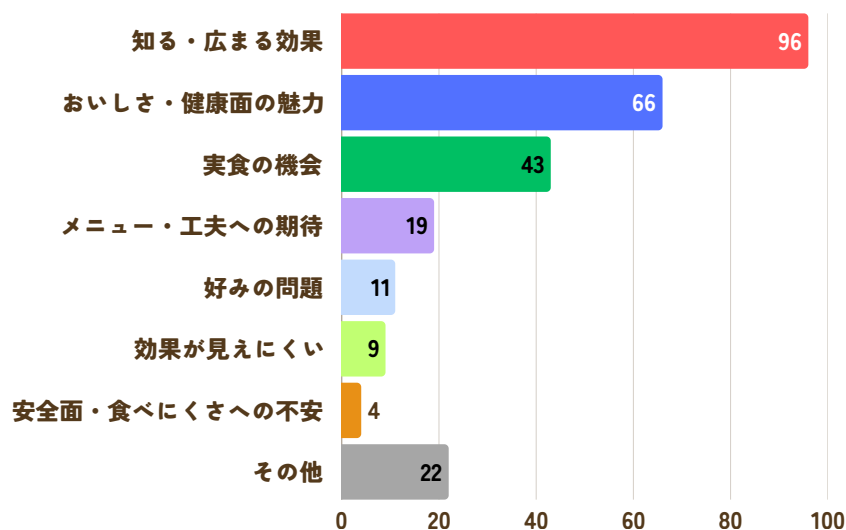


質問18 問17でどうしてそう思ったのか理由を教えてください。

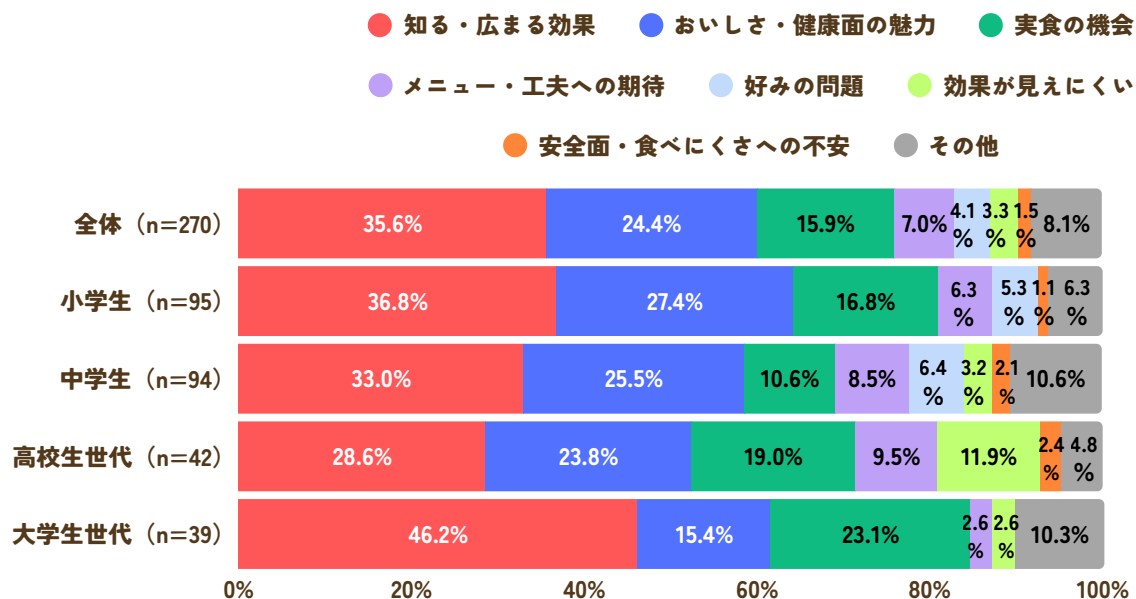
(自由記述200字以内)

- ・ 全体では「知る・広まる効果」、「おいしさ・健康面の魅力」、「実食の機会」に関するコメントが多く見られました。
- ・ 大学生世代では「知る・広まる効果」に関するコメントが多く見られました。
- ・ 問17で「あまり良いと思わない」、「良いと思わない」、「よくわからない」と答えた人からは、「好みの問題」、「効果が見えにくい」、「安全面や食べにくさへの不安」についてコメントが見られました。

■ コメントの全体合計数 (n=270)



■ コメントの種類別パーセント (年次別)



質問18 問17でどうしてもそう思ったのか理由を教えてください。

(自由記述200字以内)

～具体的なコメント(抜粋)～

知る・広まる効果

- ・ 小学生のときに給食で上州牛などの群馬県の食材を食べて群馬の特産品について興味を持ち、そのことが今でも印象に残っているから。(高校生世代)
- ・ 学校の給食で使われることによってより多くの人にこんにゃくが群馬の特産品であることを知ってもらえるから。(大学生世代)
- ・ 群馬のこんにゃくについて知ることができ、家庭でもその話が出れば、子供を通して群馬県民全体に広まっていくと考えるから。(大学生世代)

おいしさ・健康面の魅力

- ・ 太りにくく、美味しいから。(中学生)
- ・ こんにゃくはとても美味しいだけでなく身体にも非常に良い食品だから。(高校生世代)
- ・ こんにゃくはヘルシーであり、健康的だから。(大学生世代)
- ・ こんにゃくはヘルシーであり、調理によって様々な味に染まることができるため、子どもたちが飽きずにおいしく食べることができるから。(大学生世代)

実食の機会

- ・ 普段の学校生活で群馬の特産品を食べることができるから。(中学生)
- ・ 幼稚園、小学校、中学校で食べられている給食に入れることで、こんにゃくを身近に感じられると思うから。(高校生世代)
- ・ 給食でであれば、知る機会と食べる機会が増えるから。(大学生世代)
- ・ 実際に食べて、おいしいと思うことができればまた自分から食べようとなると思うから。また、真似して家で作れるから。(大学生世代)

メニュー・工夫への期待

- ・ デザートならいい。(小学生)
- ・ 家で食べるこんにゃくは煮物やおでんが多いので、色んな料理を食べてみたいと思ったから！(中学生)

質問18 問17でどうしてもそう思ったのか理由を教えてください。

(自由記述200字以内)

～具体的なコメント(抜粋)～

好みの問題

- あまりこんにゃくが好きではないから。(小学生)
- みんながこんにゃくを好きとは限らないから。(小学生)

効果が見えにくい

- 給食は栄養が大事だと思う。美味しいから入れていいとは思いますがそんなに頑張っていれなくていいと思う。遠足でこんにゃくパーク行けばいいと思う。(高校生世代)
- 学校給食にこんにゃくを使用するだけでは、こんにゃくを味わうことはできても、作り方など学ぶことで、知ることまでたどり着かないと思うから。(高校生世代)

安全面・食べにくさへの不安

- こんにゃくは弾力があるので、小さい子が喉に詰まらせてしまう可能性があるから。(高校生世代)

【ICTの活用について】

【中学生、高校生世代、大学生世代が回答】

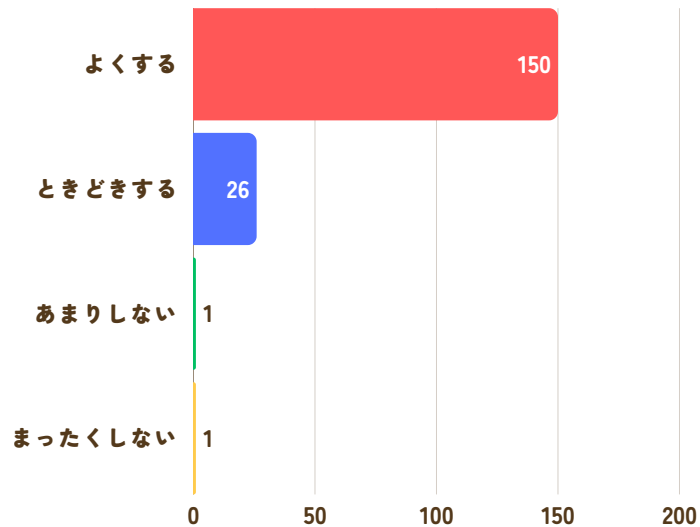
質問19

パソコンやタブレット、スマートフォンなどのICTを使って
「情報収集」することはありますか？

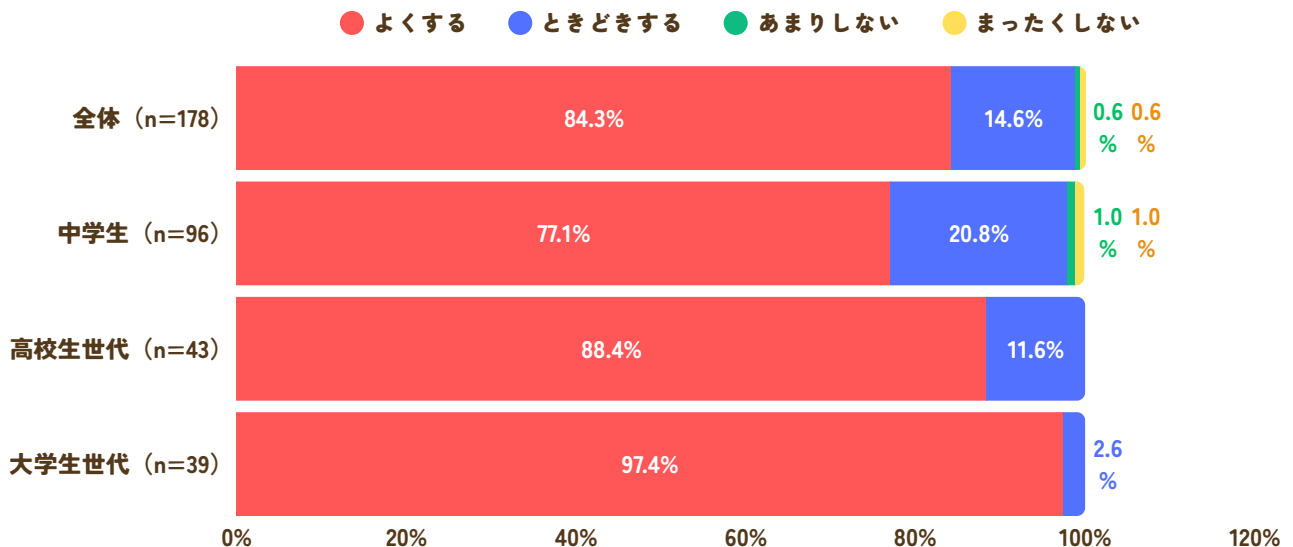
- ・ 全体では「よくする」、「ときどきする」と答えた人の割合が合わせて98.9%を占めました。
- ・ 「よくする」と答えた人の割合は大学生世代が最も高く97.4%で、世代が上がるにつれて高くなる結果になりました。

【回答項目】 1.よくする 2.ときどきする 3.あまりしない 4.まったくしない

■ 全体合計数 (n=178)



■ 年次別パーセント



【ICTの活用について】

質問20

【中学生、高校生世代、大学生世代が回答】

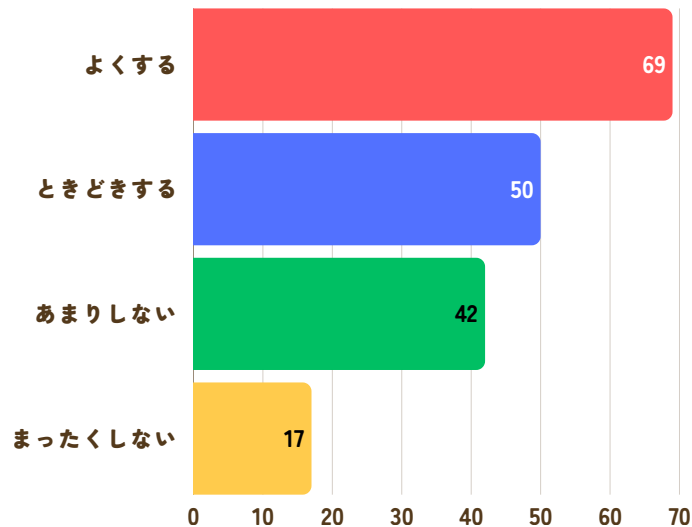
パソコンやタブレット、スマートフォンなどのICTを使って
「情報の分析」をすることはありますか？

（例：収集した情報をグラフ化する、生成AIに情報を読み込ませて傾向や特徴を分析するなど）

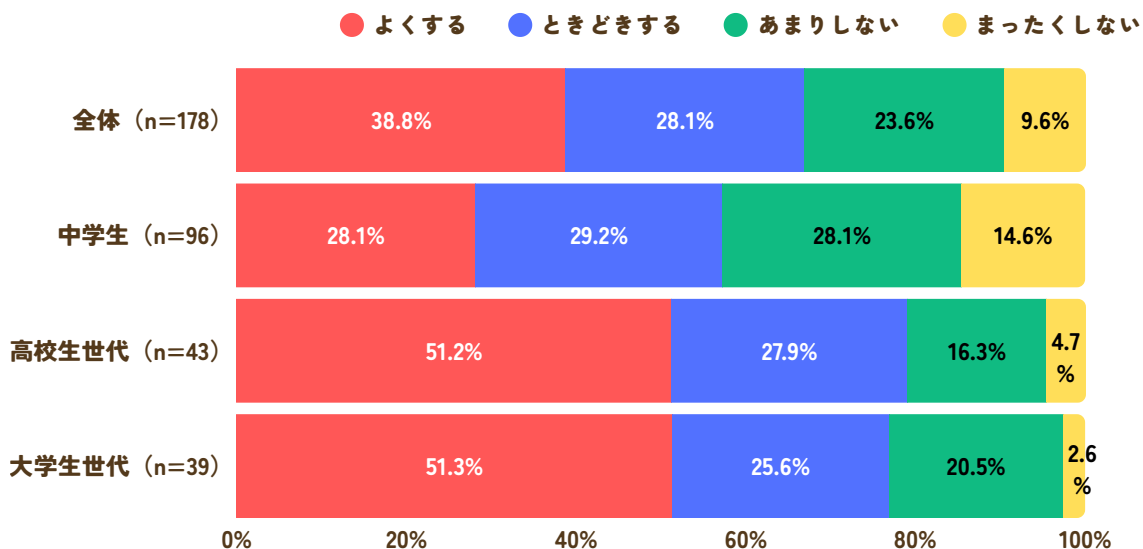
- ・ 全体では「よくする」、「ときどきする」と答えた人の割合が合わせて66.9%を占めました。
- ・ 中学生では「よくする」、「ときどきする」、「あまりしない」と答えた人の割合が同程度でした。
- ・ 高校生世代と大学生世代では、「よくする」と答えた人の割合が高く、それぞれ半数以上を占めました。

【回答項目】 1.よくする 2.ときどきする 3.あまりしない 4.まったくしない

■ 全体合计数（n=178）



■ 年次別パーセント



【ICTの活用について】

質問21

【中学生、高校生世代、大学生世代が回答】

パソコンやタブレット、スマートフォンなどのICTを使って

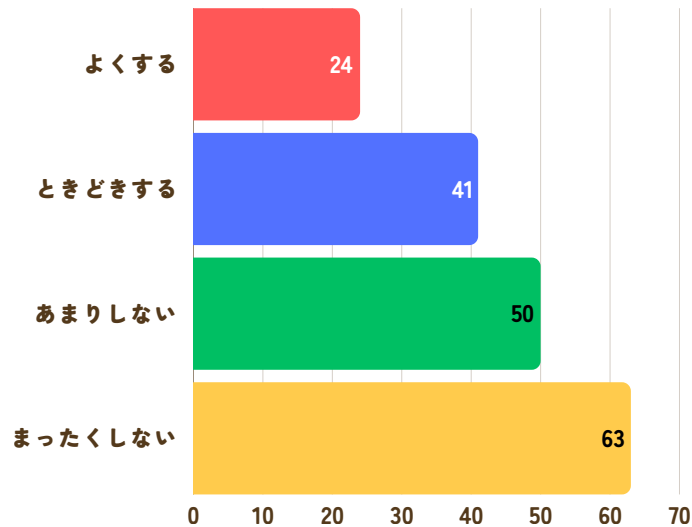
「自分の考えを発信」することはありますか？

(例：自分の好きなことや興味のあることをSNSに投稿する、動画を作ってYoutubeで配信するなど)

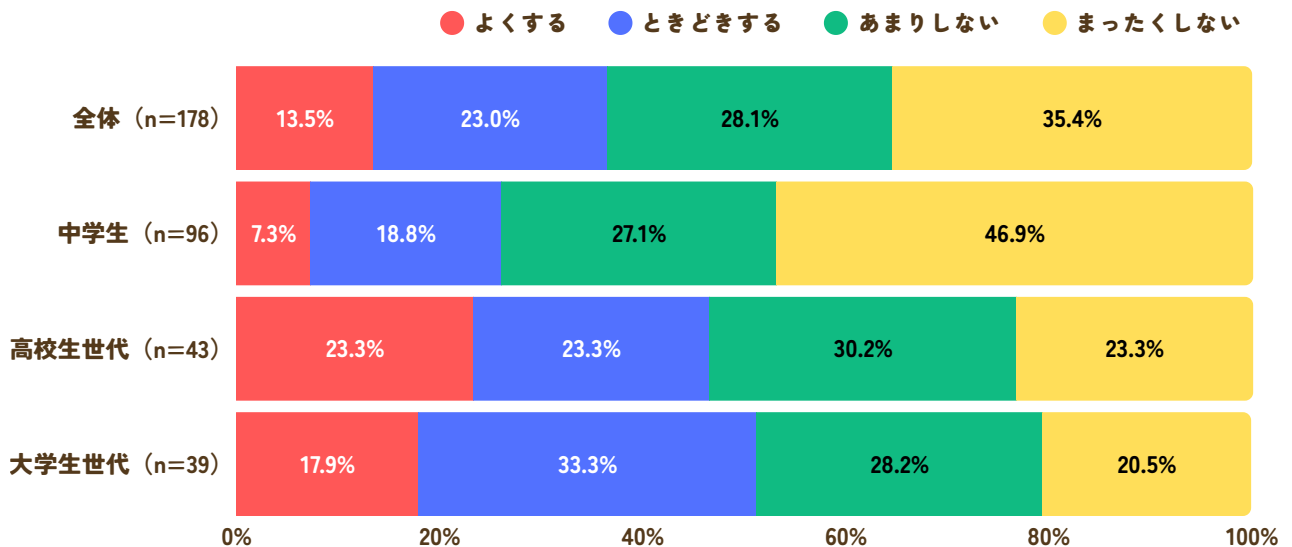
- ・ 全体では回答の多い順に「まったくしない」、「あまりしない」、「ときどきする」、「よくする」でした。
- ・ 中学生では、他の世代と比べて「まったくしない」と答えた人の割合が高く、46.9%でした。
- ・ 「よくする」と「ときどきする」と答えた人を合わせた割合は、高校生世代と大学生世代で高く、それぞれ46.6%、51.2%でした。

【回答項目】 1.よくする 2.ときどきする 3.あまりしない 4.まったくしない

■ 全体合計数 (n=178)



■ 年次別パーセント



【ICTの活用について】

質問22

【中学生、高校生世代、大学生世代が回答】

どのような場所や機会があれば、「ICTを使った情報の収集、分析、自分の考えを発信する活動」をみんなが経験できるようになると思いますか？

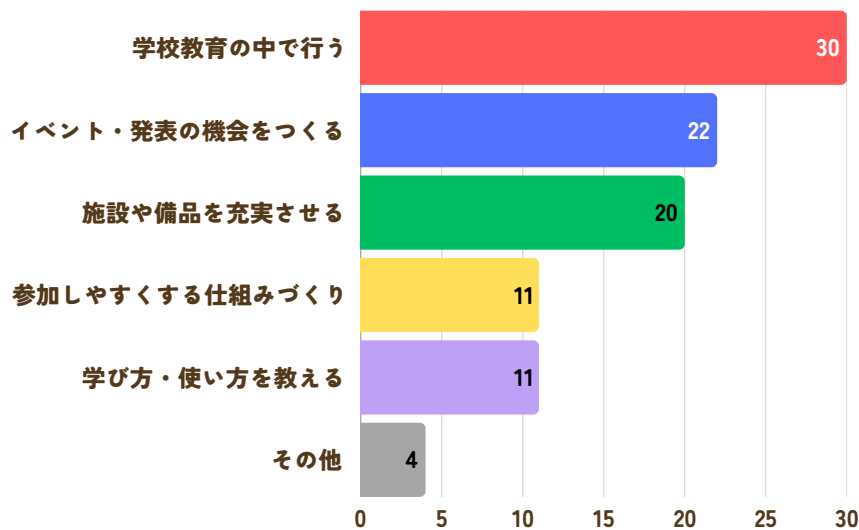
アイデアがあれば教えてください。

(自由記述200字以内)

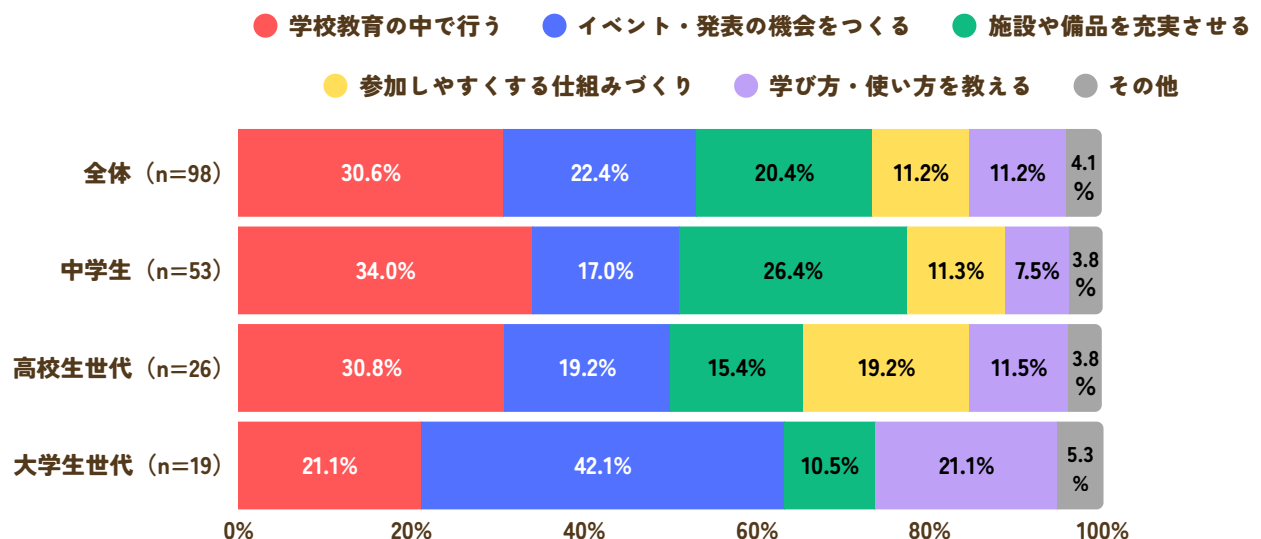
(例：群馬県内の各地にだれでも無料で使える動画編集などのソフトが入ったパソコンを備えた施設が整備される、地域の課題をテーマに子どもや若者がICTを活用して情報を収集・分析し、自分の意見やアイデアを発信するコンテストを開催する など)

- ・ 全体では「学校教育の中で行う」、「イベント・発表の機会をつくる」、「設備や備品を充実させる」に関するコメントが多く見られました。

■ コメントの全体合計数 (n=98)



■ コメントの種類別パーセント (年次別)



【ICTの活用について】

質問22

【中学生、高校生世代、大学生世代が回答】

どのような場所や機会があれば、「ICTを使った情報の収集、分析、自分の考えを発信する活動」をみんなが経験できるようになると思いますか？

アイデアがあれば教えてください。

（自由記述200字以内）

～具体的なコメント（抜粋）～

学校教育の中で行う

- 学校の授業などで、お題を出してそのことについて調べて、まとめ、意見の交流などをする機会をつくれば良いと思う。（中学生）
- 全学校でオンラインで意見交流を行う。（高校生世代）
- 学校の授業内で、ICT使用を推奨した課題を出す。（大学生世代）

イベント・発表の機会をつくる

- 自分の意見やアイデアを発信するコンテストを開催。（中学生）
- ICTについてのクイズ大会を開催する。（中学生）
- 自分の意見をオンライン上で言ったり、自分のアイデアなどを投稿したりできるサイトを作る、またはそのような機会を設ける。（高校生世代）

施設や備品を充実させる

- 誰でも使える施設の整備と正しい使い方を教えてくれる人がいたら良いと思う。（中学生）
- 図書館などに公共のパソコンを設置する。（中学生）
- ショッピングモールの遊べるエリアにそのようなことを体験できる場所を作る。（中学生）
- パソコンを使いながら、それらについて学べる、簡単に出入りができる施設があれば良いなと思った。（高校生世代）

参加しやすくする仕組みづくり

- 無料で使えるスマホ一つで出来るアプリを作る。（中学生）
- ボランティア活動や図書カードの小さな報酬がもらえる活動として開催することで参加しようと思う人が増えると思う（高校生世代）

学び方・使い方を教える

- スマホメインで、インフルエンサーのように動画編集や魅力の伝え方が簡単にわかる講座を気軽にうけることができるようにし、SNSに流れる動画を増やす。（大学生世代）
- AIの使い方講座など、AIを最大限活用する方法を知りたい。（大学生世代）
- ICTをそのまま使うのは不安だという人のために講座をしたり、シミュレーションをできる場を作ったりする。（大学生世代）

5.9%

その他

- Gメッセで新しくできた施設TUMO群馬をしっかりとみんなにプレゼンをする。（中学生）

考えるヒント（専門家の先生より）



おくだ ゆういちろう 先生
(共愛学園前橋国際大学教授)



たなか ゆり さん
(親子のための保健室・
群馬子どもの権利委員会)

みんなにとって「居場所」ってどこだろう？
自分とみんなの「当たり前」は同じかな？

3回目のアンケートにも協力してくれてありがとうございました。

今回のアンケートの中で私が今回気になったことの1つは「3.休みの日によく遊びに行く場所はどこですか？」、「4.群馬県内の好きなおでかけスポットはどこですか？具体的な施設名を教えてください。」といった、普段みなさんがどんなところで過ごしているのか、心理学で言うと「居場所」についての項目でした。

みなさんは、普段どんなところで過ごしていますか？子どもや若者たちが、どんなところで過ごしているのか、どんなところを自分たちにとっての居場所とするのかは、時代や国によって、そして住んでいる県によってももちろん異なります。

今回で3回目のアンケートとなりましたが、例えば他の県の、自分と同世代の人たちはどんな居場所で普段過ごしているのかななどを調べてみると、自分の中の当たり前が、案外みんなにとっては当たり前じゃないかも？ということにも気づくかもしれません。

自分と違う考えの「なぜそう思ったの？」
お互いに話すことは、なぜ大切なんだろう？

第3回アンケートはいかがでしたか？第1回から読み進めてきた方はだいぶ慣れてきたことと思います。

質問から自分の回答もすらすら出てくるようになりましたか？考えたことのないような質問でも自分の考えをもって回答すること、そして例えば質問4のような問いの回答に対して「自分はなぜそう思ったのかな？」と振り返ることができる、より深く自分を知ることにつながれると思います。

自分とは違う考えの人がたくさんいることもわかったと思います。質問18などがそうですね。でも理由までわかると、違う考えにも納得したり「確かにそれはそうだな」と自分の考えが変わることもあるかもしれません。

それが対話の楽しさであり、自分とは考え方が違う人同士が一緒に生きていくために大切なことだと思います。このアンケートをきっかけに自分とは意見が違う人とも「なぜそう思ったの？」とコミュニケーションを深めていってください。きっと将来、みなさんの役に立つはずです。

アンケートのご協力ありがとうございました。
みなさんの声は今後の群馬県の取り組みに生かしていきます。

群馬県 生活こども課